

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	3年生	期 別	前期	科目の実務経歴	有
授業科目名	地域保健医療論			担当教員	朝日山 一男		
授業の方法	講義、演習			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	高齢社会における東洋療法のニーズを知るとともに、高齢者の特性を踏まえた診療ができるよう、必要な知識、技能ならびに態度を身に付ける。地域医療保健に貢献することのできる施術者になるため、他の医療専門職との連携の下、在宅ケアにおける安全かつ適切な施術を提供できる知識・技能、ならびに態度を身に付ける。						
授業の到達目標	I. プロフェッショナリズム 3. 自己の役割を誠実に果たす姿勢 II. 医学的知識 5. 東洋療法における主要疾患の症候・治療の概要 6. リハビリテーション 8. リスク管理 III. 基本的臨床能力 4. 主要症候に対する東洋療法の適否の判断、治療方針・計画を立てる能力 V. 社会貢献 2. 地域ケアにおけるあはき師の役割 3. 保健医療福祉の専門職の役割と多職種との連携 4. 疾病予防と健康増進に関するアドバイス						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	高齢者の心身機能と病気の特徴1		1	地域保健医療		
	2	高齢者の心身機能と病気の特徴2		2	プライマリ・ケアと東洋療法、リスク管理と評価		
	3	高齢者の神経系愁訴1 脳血管障害		3	介護予防事業		
	4	高齢者の神経系愁訴2 認知症		4	スポーツでの参入		
	5	高齢者の神経系愁訴への施術(実習)		5	災害支援		
	6	高齢者の泌尿器系愁訴と東洋療法		6	災害支援		
	7	高齢者の腰痛、膝痛への施術(実習) 中間試験		7	運動療法(関節可動域訓練) 座学		
	8	高齢者の腰痛		8	運動療法(関節可動域訓練) 実習		
	9	高齢者の腰痛、膝痛		9	運動療法(関節可動域訓練) 実習		
	10	高齢者の膝痛		10	運動療法(筋力増強訓練)		
	11	高齢者の腰痛、膝痛への施術(実習)		11	運動療法(筋力増強訓練) 実習		
	12	高齢者の免疫機能と東洋療法		12	体位変換、移乗 寝返り・立ち上がり		
	13	高齢者の高血圧と東洋療法		13	体位変換、移乗 側臥位・端座位		
	14	高齢者の泌尿器系愁訴への施術(実習)		14	体位変換、移乗 一連の流れ		
15	高齢者の泌尿器系愁訴への施術(実習) まとめ		15	症例を用いての実習			
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	前期はレポート、後期は実技試験で行う。			実務経歴	臨床経験33年 所属学会:日本鍼灸学会、日本体力医学会、全日本鍼灸マッサージ師会所属、災害支援、地域介護予防教室に従事		
履修上の注意	関節可動域、MMTについて練習をしてください。			授業時間外の学習	高齢者に関わる資料に目を通して頂くこと。 災害でのボランティア活動に関心を持ってください。		
使用教材	プリント・パワーポイント・松本勅編著「高齢鍼灸学」医歯薬出版株式会社、「鍼灸マッサージ師のためのスポーツ東洋療法」医道の日本社			連絡先	事務課をとおして、直接声をかけて下さい。 (水曜日のみ)		